

2025年度 施策マネジメントシート【2024年度実績評価】

作成: 2025年 6月 20日

施策番号	施 策 名	環境保全と再生エネルギーの推進		基本目標	自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり		
4-3-1				政策名	自然と調和した持続可能な生活環境の整備・保全		
	主 管 課	環境土木課		課長名	橋本 直樹	内 線	414
	施策関係課						

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図		結果		
本町の豊かで美しい自然環境の保全と循環型社会に向けたエネルギーの有効活用をすすめます。			町民・町内の自然環境		・環境への負荷を低減し、自然環境と景観を保全する		
					町民が住みやすい快適な生活環境を保全する		
成果指標		説明	単位	策定期(基準値)	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績
①	芽室町の景観に満足している町民の割合	住民意識調査	%	87.9 (R3)	86.6	86.4	
②	芽室町の自然環境(空気・水・土壤など)に満足している町民の割合	住民意識調査	%	92.9 (R3)	92.7	94.1	
③							
④							
成果指標設定の考え方		①美しい景観を維持するための成果指標とし、高水準の住民満足度を維持していく目標値を設定。 ②恵まれた自然環境を保全し次世代に受け継ぐための成果指標とし、高水準の住民満足度を維持していく目標値を設定。					

2. 施策の事業費

	策定期決算	2023年度決算	2024年度決算	2025年度決算	2026年度決算
施策事業費 (千円)	2,221	2,855	2,953		

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察						
①2024年度の成果評価(前年との比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	成果指標①微減→特段の理由なし 成果指標②向上→特段の理由なし			
②第5期総合計画後期実施計画(2026年度)の最終的な目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	ごみの不法投棄や空き地の雑草など、景観を損ねる要因があるが、ごみ散乱の多い地区の草刈り(道路路肩など)を定期的に実施し、ごみを捨てにくい環境とする。また、空き地の所有者に対しては、状況を通知し改善を求める。			
(2) 施策の成果評価に対する2024年度事務事業総括						
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	クリーンめむろ大作戦推進事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業				
②	地球温暖化対策事業					
③	③事務事業全体の振り返り(総括)					
●環境調査(大気・水質・悪臭・騒音)の実施 →河川の水質は気温(高温)の関係等で一部基準値を満たさない河川もあるが、その他の調査は環境基準を満たしている。 ●生活環境の維持 →ペット飼育のマナー等について、広報誌等で周知・啓発を行った。また、不法投棄の多い地区の草刈りを定期的に実施したことにより、一定程度の効果が見られた。 ●地球温暖化防止実行計画の策定 →温室効果ガス排出量削減、ゼロカーボン推進の考え方・具体的な取組を示す「芽室町地球温暖化防止実行計画(区域施策編)」「芽室町地球温暖化防止実行計画(事務事業編)」を策定・改定し、「芽室町ゼロカーボンシティ宣言」を行い、ゼロカーボン推進の方向性を見出した。						
(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定期との比較)						
担当課評価	住民意識調査の結果は横ばいであるため、維持したと評価する。	A	B	C	D	E
	進捗結果				○	

A: 実現した
 B: (後期実施計画策定期と比較して) 大きく前進した
 C: (後期実施計画策定期と比較して) 前進した
 D: (後期実施計画策定期と比較して) 変わらない又は維持した
 E: (後期実施計画策定期と比較して) 後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>『施策を取り巻く状況』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高山脈襟裳国定公園の国立公園指定が決定し、町民の更なる機運醸成を図り、地域の活性化につなげる。 ・地球温暖化防止実行計画を策定し、2050年までにゼロカーボンに向けた取り組みを推進する。 <p>『今後の予測』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高山脈襟裳十勝国立公園指定により、自然環境や景観の魅力を再認識する契機となる。 ・地球温暖化による気候変動など、再生可能エネルギー活用の重要性は増している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・道路のごみ(不法投棄)対策について <ul style="list-style-type: none"> →定期的に不法投棄の多い場所の草刈りを実施し、ごみを捨てにくい環境とし、監視カメラ(移動式)を設置した。 ・街路樹の必要性は理解するが、落葉対策や更新計画について <ul style="list-style-type: none"> →「緑の基本計画」を次期見直し時に街路樹の更新等について追加する。 ・私有地(空き地)等の環境整備について <ul style="list-style-type: none"> →所有者に状況を通知し、改善を求めた。 ・河川の水質問題について <ul style="list-style-type: none"> →関係機関と連携して対策を検討する。

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取り組むべき課題)

<p>●環境美化活動の推進(クリーンめむろ大作戦推進事業、環境審議会運営事業)</p> <p>地域や各団体で取組む道路・公園等のごみ拾いや清掃活動、花苗植栽活動等を支援・推進するとともに、空閑地所有者への草刈り等の環境整備を促すなど、美しい景観づくりを推進する。また、「ごみ処理基本計画」に基づき、ごみ減量化・資源化に取り組む。</p> <p>●地球温暖化対策(地球温暖化対策事業)</p> <p>「茅室町地球温暖化防止計画(区域施策編)」を策定し、その後、「茅室町ゼロカーボンシティ宣言」を行い、本格的にゼロカーボン推進に向けて取り組むこととした。区域施策編では、町民・事業者・行政それぞれが一体となってゼロカーボン推進に取り組むこととしており、今後、町民・事業者の意識付けとそれぞれの取組により温室効果ガス排出量の削減につなげていくことが課題。その解決策の1つとして、町民向け・事業者向けセミナーの実施や町民向け補助事業を創設し、産業部門・家庭部門などの温室効果ガス排出量削減を目指す。行政としては、区域施策編の策定を受けて「茅室町地球温暖化防止実行計画(事務事業編)」を見直し、新たな削減目標を設定して取り組む。行政(公共施設等)から排出される温室効果ガスの量は多く、排出量の削減が大きな課題となっている。削減目標達成に向けて公共施設への再生可能エネルギーの導入や次世代自動車の導入、省エネルギーへの取組などをを行い、成果につなげていく。また、さらなる削減を目指し、新たな再生可能エネルギーの導入に向けた検討を進めること。</p>
--

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	成果指標等から、維持したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				O	
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。						

A: 実現した
B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した
C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した
D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した
E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	庁内評価同様に維持したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				O	
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロカーボンなど、分かりやすい情報提供を希望。 ・河川のPFAS測定値の公表。 ・道路、ごみなどの環境整備に力を入れてほしい。 ・ゼロカーボンシティ宣言の具現化。 ・道道の街路樹問題が過去からある。街路樹が街灯よりも大きくなつて街灯の意味がない。信号機も同様。 ・茅室町の景観、日高山脈や農村の風景はいいが、ゼロカーボンを推進することで、ソーラーばかりでは景観が悪くなる。景観とゼロカーボンをつなげて考えてもらいたい。 						

A: 実現した
B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した
C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した
D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した
E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した